

患者さんに対して誠実な 産婦人科医を育てる

熊本大学大学院 生命科学部 産科婦人科学分野

片瀧 秀隆 教授

【沿革】

私たちの講座は、1896年(明治29年)の「私立熊本醫學校」創設時に初代の秋元隆次郎教授によって産科婦人科学教室が設けられて以来、119年目を迎えました。その後、県立熊本医学専門学校、熊本医科大学を経て熊本大学医学部となり、2004年9月に第9代として片瀧秀隆教授が就任し、現在に至っています。教室の歴史は古く、同窓会の会員数が300人を超えており、一地方都市の産婦人科講座としては恵まれた環境にあります。

私たちの講座には、女性の一生に関わる生殖内分泌・周産期・婦人科腫瘍・更年期・老年期の全ての領域について40～50代のエキスパートがそろっており、柔軟でバランスの取れた診療を目指しています。講座のモットーは「患者さんに誠実であれ!」で、常に初心に立ち返り、一人ひとりが患者さん主体の医療を心がけています。

2010年に新病棟が完成し、婦人科は38床、産科・周産期母子センターは産科21床、MFICU6床、NICU12床およびGCU12床を有し、小児科や小児外科と連携して運営しています。また、2014年9月には新外来診療棟がオープンし、心機一転、産科・婦人科で年間2万2000人を超える外来患者の診療にあたっています。

【3領域のバランスが取れた診療】

周産期の領域では2002年9月に周産期母子センターが開設されて以来、母体搬送数・新生児搬送件数が年々増加し、現在年間約180件の搬送に対応しています。婦人科腫瘍の領域では、2012年の調査で浸潤子宮頸がんの症例数が全国11位、九州2位、子宮体がんおよび卵巣がんはともに九州2位の治療実績があり、3大がんとしては九州でトップクラスの治療数です。総手術件数はこの15年間で2倍に増加し、婦人科悪性腫瘍に対する手術件数は、がんセンターを含めた全国の上位10施設の中に入っています。不妊症の領域では、1997年より体外受精・胚移植、顕微授精といった生殖補助技術(ART)を九州でいち早く導入し、現在年間総数170人を超える不妊症患者さんの診療に携わっています。

これら3領域がそれぞれ知恵を出し合い、患者さん一人ひとりにとって最適な治療とは何かを常に模索しています。

【入局後の将来像】

入局後は診療と研究に従事し、希望に応じて、地域の関連施設でも充実した研修を受けてもらいます。また、内外の留学研究施設で研さんすることもできます。講座の雰囲気は自由かつ学問的で、チャンスは平等です。教室員



の約半数が他大学出身で、外勤先、大学院進学、留学などにおいて、出身大学による区別は一切ありません。さらに教室員がプライベートでも充実した生活を送れるよう、夏冬各1週間の休暇や産後の育休期間を確保しています。また、時間外の分娩や搬送に携わった医師に対し、全国的にもトップクラスの手厚い手当を支給します。教室員の約4割が女性医師であり、多くの医師が仕事と子育ての両立に奮闘中です。各自のライフスタイルに沿った将来像と一緒に模索し、講座を挙げてバックアップします。ご連絡をお待ちしています。

文責：坂口 勲

DATA

熊本大学大学院
生命科学部 産科婦人科学分野
〒860-8556
熊本県熊本市中央区本荘1-1-1
<http://kumadai-obgyn.net/>
kumadaisanpu@gmail.com
構成：医局員数/44人、指導医数/19人
研修医数/30人

ドクターのヒューマンドキュメント誌

平成13年4月17日第三種郵便物認可 平成27年1月20日（毎月1回20日発行） 通巻184号

No.184 February

DOCTOR'S MAGAZINE

ドクターズマガジン

2
2015

ドクターの肖像

日本大学医学部長・消化器外科 教授

高山 忠利

Voice

医療法人社団 三喜会

鶴巻温泉病院

Precursor —先駆者—

聖路加国際病院消化器内科 医長

石井 直樹